

あしっ 育成だより

28

立教 188 年 5 月 23 日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部

特集 ①教会長子弟育成者研修会 ②女子青年、学生会、少年会の活動



《親のことば》

先は長いから、いまは学生だからというのではなく、いまの状況の中で精いっぱい、ひながたの道をたどる努力を、お教えいただく通りに道を歩む努力を重ねていただきたいのです。それは決して無駄にはなりません。そうした若い間の経験があってこそ、将来、道を通り続けるための地力を身につけることができるのです。

(立教 188 年 春の学生おちばがえり真柱様メッセージより)

① 教会長子弟育成者研修会開催

素直な心を持ったようぼくに

3月24日、育成部（山田道弘部長）は大教会陽気ホールで本年の「教会長子弟育成者研修会」を開催し、直属育成責任者、育成担当者合わせて42名が参加しました。



大教会春季霊祭後、午後1時30分より本年の「教会長子弟育成者研修会」を開講し、はじめに、大教会長様よりお話を頂きました。

大教会長様は冒頭、おさしづに出てくる「一日生涯」というお言葉に触れられ、「おさづけを戴いたその日の心を生涯の心で通ってくれ、という本来の意味から、若い頃素直な心でおさづけを戴いた、その素直な心を生涯忘れずに通る、素直なようぼく、素直な信仰者に育ってもらうことが大切」とし、その中で「導く側が忘れてはならないのは、傍観者にならないこと。率先して動き、先導者、行動者として子に背中を見せることが重要」との思いを親が持ち、根気よく丹精していく縦の伝道の大切さをお話くださいました。

さらに、「今の時代、若い子には繊細な子、心の弱い子が増えたといわれているが、親と子に限らず、教会長とようぼく子弟の関係は、教会長が直接一人ひとりに見合ったアプローチ、声を掛け、心を掛けること、一步一步の積み重ねが本当に大

切である」と、子弟育成に対する思いを述べられました。

次に、奥田正儀部員による「教会長子弟育成プロジェクトのこれまでの取り組みの振り返り」。スクリーンに投影されたスライドを基に、教会長子弟育成プロジェクトを振り返り、教会子弟の現状や大教会として行ってきた育成の取り組みを説明しました。

続いて、班に分かれてねりあい。大教会長様のお話を聴いて感じたこと、教会での子弟育成の取り組みや今後の課題について、活発に意見交換を行いました。



そして、梶川和人部員から、教会家族名簿更新と活用について説明があり、最後に、山田育成部長の閉講挨拶で閉会しました。

教祖百三十年祭後より、「教会長子弟育成プロジェクト」の一環として、毎年実施してきたこの研修会も、教祖百四十年祭活動の3年目の今年をひと区切りとして、一旦開催を終えます。



② 女子青年、学生会、少年会の活動

教祖のひながたを求めて

●おふでさきの勉強会スタート

芦津女子青年（井筒たつえ委員長）は、2月24日に今年の初例会を詰所で開催。本部神殿でおつとめを勤め、詰所ひのきしん、ねりあいを行い、今年は例会で、一年を通して「おふでさき」の勉強をさせていただくことになりました。

3月は、大教会の月次祭でコーヒーサービスを行い、大勢の帰参者に喜んでいただき、その後の例会で、「おふでさき」とその注釈をもとに勉強会を実施しました。

また、少年会総会では受付やアトラクション、クレープ作りのひのきしんをつとめ、大勢の子供たちが笑顔で楽しんでいる様子を見て、とても勇んだ気持ちになりました。

●教祖のお誕生日ケーキ作り

また4月の教祖誕生祭には、教祖にお誕生日ケーキをお献じしようと、今年もパティシエの荒木めぐみさん（恵庭分教会）を中心に17日午後からケーキを作成し、18日、教祖のもとへケーキをお届けさせていただきました。

井筒委員長は、「今年も荒木さんから、スイーツ作りの豆知識などを教わりながら、みんなで協力して作りました。どんどんケーキが出来上がっていくのを見て、ワクワクが止まらず、とても楽しいケーキ作りになりました」と感想を語りました。

今後の活動予定

- ・ 5/25 おふでさき勉強会 12:00 ～ 詰所
 - ・ 6/29 女子青年の集い 10:00 ～ 大教会
- 内容：青年会総会おつとめ（女鳴物）、式典、アトラクション
- 8時に詰所から大教会行きのバスが出ます

活発に動く芦津女子青年





HAPPY徒歩団参 3/27

●おぢばまでの道を全員が完歩！

春の若年層育成期間「あしつスプリングフェスタ」は、今年も芦津学生会が企画する3月27日の「HAPPY 徒歩団参」でスタートしました。今回で5回目となる徒歩団参は、中学1年生から25歳までの芦津に繋がる若者を対象に25名が参加しました。

午前9時、大教会のお願いづとめに参拝し、十三峠登り口までマイクロバスで移動。展望台までの上り坂、平群スポーツセンターまでの下り坂を歩き、昼食休憩。雨が近づいてきたため、バスで天理市内の前栽駅付近まで移動し、再度歩き始めました。神殿が近づくにつれ、参加者の足取りも軽快になり、午後2時30分に全員が無事におぢばに到着。神殿前で記念撮影をして解散しました。初めての参加者から「最初の上り坂はしんどかったけれど、たくさんの人と仲良くなれて、おしゃべりしながら楽しく歩けた」などの感想が聞かれました。



春の学生おぢばがえり 3/28

●おぢばに心を繋いで

3月28日、「心をつなぎ輪になって、喜びあふれる春学」をテーマに「春の学生おぢばがえり」が開催され、芦津から47名の学生が参加しました。式典では、真柱様から学生に対するメッセージを頂戴しました。

詰所での直属アワーでは、大教会長様からのお話。おぢばは不思議めずらしい場所だと仰せになった上で、「おぢばは皆さんのふるさとだから、おぢばのことを忘れることなく、何かあったときには御存命でお働きくださる教祖のところに足を運んでください。そしてこのお道は、おぢばに運ぶ信仰であることを心のどこかにおいて、勉学に励んでください」と望まれました。

記念撮影の後、河合太洋委員長が、参加者に対して感謝の思いを伝え、「みんなで一緒に楽しみましょう」と挨拶。昼食は食堂で焼肉を楽しみ、その後、大広間で班別対抗ゲームやクイズで交流を深め、最後に班ごとでケーキ作りを行いました。



わかぎの集い 3/29～30

●大教会で同世代の仲間と共に

3月29日から30日朝にかけて、中学生を対象に「わかぎの集い」を大教会で開催し、芦津に繋がる中学生12名が参加。

午前10時より開講し、翌日の総会で勤める役割に分かれて、おつとめ練習を行いました。参加者は、担当の先生の話真剣に聞き入り、熱心に取り組みました。

午後からは学生会スタッフも合流し、室内オリンピック、人気番組の企画「逃走中」を行い、参加者同士やスタッフとの距離が一気に縮まり、大いに盛り上がりました。夕食は、オードブルを囲み、デザートをかけた班対抗イントロクイズに挑戦するなど、楽しいひとときを過ごす参加者たちの笑顔が溢れました。

翌朝の開講式では、山田道弘・育成部長が挨拶。最後に記念写真を撮影して閉講となり、参加者からは、「感謝の心でおつとめを勤める大切さを学べた」「短い時間の中で、同年代や学生会のスタッフと仲良くなれて楽しかった」との声が聞かれました。



第53回少年会総会

3/30

●大勢の少年会員が大教会に集う

3月30日、少年会芦津団（加世田洋団長）は、第53回総会を大教会で開催し、少年会員230名、育成会員329名、合計559名が集まりました。

おつとめでは、わかぎの集い参加者を中心に座りづとめを勤めた後、各隊が六下り目までを一下りずつ交替で勤め、親神様、教祖に練習の成果をご覧いただきました。

式典では、大教会長様よりお話があり、「おつとめでみんながたすけ合うのを教祖が一番喜ばれるので、これからも練習を重ねて、教会でおつとめが勤められるようになってください」と期待を述べられました。式典後、門出生は対面所で、「成人門出式」。大教会長様からお祝いの品が一人ひとりに手渡されました。

午後からのお楽しみ行事では、からあげなどの模擬店、射的などのゲームコーナーや、シャボン玉などで楽しみ、正面階段では10連けん玉選手権が開催され、玉の入った数を参加者で競い合う中、大きな歓声があがるなど、盛り上がりを見せました。



6/29 青年会芦津分会総会 女子青年の集い

10:00 ~ おつとめ 式典 アトラクション



立教
188年

子ども おちばがえり

7/27
~ 8/3



子どもおちばがえり
オフィシャルサイトへ

立教
188年

8/9 ~ 8/13

学生生徒修養会 高校の部

この夏、とっておきの出会いがキミを待っている！



8/23

夏休みあしつ 親子参拝

家族皆で大教会月次祭に参拝しよう



① 教会長子弟育成者研修会

② 女子青年、学生会、少年会の活動

あしつ 育成だより 28

立教 188 年 5 月 23 日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部